

## 益富地学会館25年

### 京都で祝賀会開催

公益財団法人・益富地学会館（京都市上京区、山岡景一郎理事長）が法人設立から25年を迎え、京都ブライトンホテルで祝賀会を開催した。

同会館は昭和48年に、アマチュアの鉱物研究の大家だった益富寿之助博士が「日本地学研究会館」として設立。平成3年に一層の

地学の普及と啓発をめざして財団法人化された。

現在は益富博士のコレクションをはじめとして約2万点の標本を所蔵。地学関係蔵書や研究機器を備えるほか「石ふしぎ博物館」（土日祝開館）も併設して標本などを公開している。

また各種ワークショップや、国内最大の石関連フェア「石ふしぎ大発見展」を毎年、京都と大阪で開催、一般公募による研究発表コ

ンテスト「益富地学賞」など各種活動を行っている。

祝賀会では、山岡理事長が、法人設立にいたる苦労話やこれまでの歩みを紹介し、理事の藤原卓主任研究員ら3人を永年功労者表彰。益富博士に幼少時から鉱物や化石について薫陶を受けた三重県総合博物館の大野照文館長が「益富地学会館で育った50年」と題して、博物館の運営や在り方について講演した。